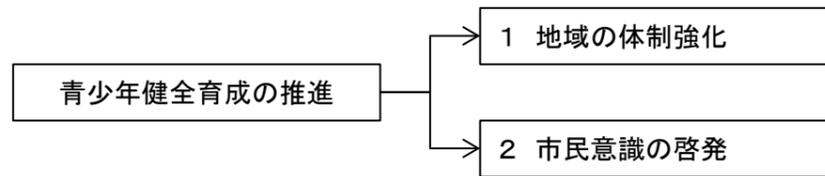


施策3 青少年健全育成の推進



基本事業1 地域の体制強化

事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標				進捗度とその理由	今後の方向性等	
				項目	単位	H28実績	H29実績			H32目標
3-1-1 家庭教育学級	園児～中学生の子どもが居る家庭の保護者、任意の教育関係者等	参加者が社会環境の変化に対し、家庭教育に有効な知識や手法を学び、子育て環境の適応変化を促す。	全小・中学校、こども園・幼稚園・保育園(計18ヶ所)での保護者を対象とした講演会等の開催。	①学級に参加して有意義だったと感じた参加者の割合 ②小中学校・保育園等单位での講演会開催計画数に対する開催数の比	①% ②%	①90 ②-	①90.7 ②100	①95 ②100	A 参加者からの内容に対する満足度は高い状況にある。	● 学校等の協力先の理解を得られる範囲で開催方式や内容等を工夫変更する必要があるが、一方で協力者である学校の教員及び保護者の負担を配慮した事業形態を検討する必要がある。
3-1-2 教育振興運動推進事業	市民	地域全体で子どもたちの健全育成を図る。	関係者研修会の開催、実績等取りまとめ、事業補助金の交付	教育課題の解決のために具体的な活動を実施した実践区数	地区	6	8	8	A 各実践区では様々な教育課題に対応する主題を掲げ、その課題解決のため、創意と工夫による実践的な活動を通して教育振興運動への理解を深めた	○ 各実践区の活動を支える事務局体制を強化し、安定的に継続した取り組みを進めていく。



基本事業名	対象	意図	成果指標				進捗度とその理由等	
			項目	単位	H28実績	H29実績		H32目標
3-1 地域の体制強化	市民	青少年の健全育成に連携して取り組む。	「身近な地域で青少年健全育成活動が行われている」と答えた市民の割合(市民意識調査)	%	40.7	33.5	50.0	B 教育委員会所管の事務事業はおおむね計画通り実施されているが、青少年健全育成に向けた体制強化のためには、防犯・非行防止・まちづくり活動等との更なる連携が必要である。

基本事業2 市民意識の啓発

事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				名称	単位	H28実績	H29実績	H32目標		
3-2-1 成人式開催事業	新成人	新成人の飛躍を祈念する。 成人としての自覚をもってもらおう。	成人式実行委員会の開催、記念行事の実施、記念品の配布、成人式の開催	①新成人の成人式出席率	①%	①83.7	①78.6	①90.0	A 冬の成人式が定着し、成人者の家族の関心も高く、年々家族等の一般参観者が増加傾向にある。	○ 継続的に実施することとするが、成人年齢が18歳に引き下げとなる民法改正が、2022年4月1日から施行されることになり、今後、近隣市町村の動向などを注視しながら対応を検討する。
3-2-2 教育振興運動推進事業 (再掲)	市民	地域全体で子どもたちの健全育成を図る。	関係者研修会の開催、実績等取りまとめ、事業補助金の交付	教育課題の解決のために具体的な活動を実施した実践区数	地区	6	8	8	A 各実践区では様々な教育課題に対応する主題を掲げ、その課題解決のため、創意と工夫による実践的な活動を通して教育振興運動への理解を深めた。	○ 各実践区の活動を支える事務局体制を強化し、安定的に継続した取組を進めていく。



基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	H28実績	H29実績	H32目標	
3-2 市民意識の啓発	市民	青少年の健全育成の意識を高める。	「青少年健全育成に関心を持っている」と答えた市民の割合(市民意識調査)	%	52.3	49.8	75	B 教育振興運動実践区の活動により、青少年健全育成に対する意識が醸成され、さらなる推進体制の強化を図ることにより、安定的に継続した活動を期待できる。

□総括

施策名	対象	意図	成果指標				進捗度とその理由等	
			項目	単位	H28実績	H29実績		H32目標
3 青少年健全育成の推進	青少年(児童・生徒から20歳まで)	社会性や社会規範を身につけ、連帯感を育む	非行少年・不良行為少年検挙・補導人数(大船渡警察署)	人	68	86	30	<p>B</p> <p>公民館の各種事業や教育振興運動を通して、子どもたちの豊かな人間性や社会性等を育むとともに、生きる力の育成に努めた。</p> <p>教育委員会所管の事務事業は、概ね計画通りの成果が得られているが、青少年健全育成事業については、非行防止・防犯対策から学校教育・社会教育・まちづくり活動等、広範囲にわたっていることから、より効果的に事業を推進していく必要がある。</p> <p>また、非功少年・不良行為少年検挙・補導者数が年々増加傾向にあることから、関係組織・団体等と連携を図りながら、更なる青少年の健全育成に係る普及・啓発活動等を実施する必要がある。</p>

<課題>

- 教育分野の取組と、防犯・非行防止、まちづくり活動等との更なる連携と、効率性の観点から青少年健全育成に係る推進体制の強化
- 地域ぐるみで地域の教育課題の解決に取り組む教育振興運動を継続して推進するため、各実践区の推進体制を強化するとともに、安定的な取組みに対する継続支援